< 運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	八戸医療生活協同組合	事業所名	生協看護小規模多機能ホーム虹の家
所在地	(〒 031-0004) 八戸市南類家 1 丁目 13 番 10 号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・医療依存度の高い方の受け入れ
- ・医療処置や介護指導等が必要な場所でも途切れないサービスをなじみのスタッフが提供している
- ・医療、介護の連携により自宅・事業所を問わず看取り対応

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価	従業者等自己評価		
実施日	実施人数	(24)人 ※管理	理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 01 月 18 日	出席人数(合計)	(11) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	□自事業所職員(<u>3</u> 人) □市町村職員(<u>1</u> 人) □利用者(<u>—</u> 人) □利用者の家族(<u>—</u> 人)	□地域包括支援セン□知見を有する者		□地域住民の代表者(<u>2</u> 人) 1(<u>1</u> 人)

■ 前回の改善計画の進捗評価

	項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)		・人員配置の整備・多職種での情報共有・学習会の定期開催	・新規採用、法人内からの異動にて人員 配置を整備 ・多職種によるカンファレンスの開催 ・年間学習企画立案、開催	入退職が重なり、人員配置の整備は継続が必要 ・多職種にようるカンファレンスの開催、 学習会開催は継続できている
II.サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供(評価項目 11~27)	定期的なアセスメント ・多職種連携会議の開催 ・利用に偏りが出ないように調整	・定期的なアセスメント ・多職種連携会議の開催 ・利用に偏りが出ないような調整	定期的なアセスメント、会議開催は継続 できている ・利用希望、要望等を聞き調整できてい る
	2.多機関・多 職種との連携 (評価項目 28 〜31)	・必要な包括的なサポートの検討	・多職種でのカンファレンスの開催	・カンファレンスの開催は継続できてい る
	3.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目32~41)	・運営推進会議報告 ・介護技術に関する学習会	運営推進会議報告 ・介護技術等に関する学習会の継続	・運営推進会議報告は継続しているが、 情報発信は不足している ・学習会の開催、受講は継続できている
Ⅲ. 結果評		・結果をもとに改善点を検討	・業務会議での改善点の検討	・改善点の検討はしているが、具体案の 立案には至っていな

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目 I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)		評価結果	改善計画
		定期的に火災、水害を想定した訓練を実施	・避難訓練の実施・BCP机上訓練にて見直し、修正
ス提供等 の評価 サ	1.利用者等の 特性·変化に応 じた専門的な ナービス提供 (評価項目 11 ~27)	・カンファレンスの開催は定期的にできており継続していく	・毎月多職種によるカンファレンスの実施
間	2.多機関・多 競種との連携 (評価項目 28 ~31)	利用開始の前にカンファレンスの実施と定期的な 多 職種によるカンファレンス	・利用開始前にカンファレンス
しまの	3. 誰でも安心 て暮らせる きちづくりへ O参画 (評価項 引 32~41)	毎月ある公園清掃への参加し地域の方との交流と対面による 運営推進会議により事業所のPRを継続していく	・地域の清掃活動への参加
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42·		看護小規模多機能の特徴を理解して利用者様に対応している	・利用者様受け入れの際にはなぜ当事業所なのか等を説明する 事で事業所の特徴を理解できる。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

京・ この補足
ての補足
び理念等がある
ている」
- 13理念等が掲げ
「おおよそでき
「あまりできて
催化されていな
きていない」
た足度を評価し
は足及を計画し
, , .
催化されていな
きていない」

		事	業所自己評価			
番号	評価項目	よく おお。 できて でき [・] いる る	ていきていな	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
(0)						
	大材の育成					
3	専門技術の向上のための取組 〇 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	・育成計画のまきる。・分からない事	取組内容] に成し実践できて らかげで安心し は自ら発信確認 で取れない事があ	て仕事がで		 ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	O 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	プを図っている ・参加の機会か うにしている。	ーーー 肝修への参加、2	参加するよ		✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、 充足度を評価します

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方	,, , <u>,,,</u>	できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
				·			
2	介護職・看護職間の相互理解を済	らめるための	の機会の確	保			
5	O 介護職・看護職・介護支援専						✓ 「情報を共有する機会」の充足度
	門員の間で、職員が相互に情						を評価します
	報を共有する機会が、確保さ	[具体的な	∜状況・取組	内容]			✔ 例えば「利用者等の具体的なケー
	れている	• 朝礼、	申し送りノ	ソート、メ	ルタスやサ		スについて話し合うための、定期
		イボーズ	を通し情報	の共有がで	できている		的なカンファレンスの開催」など
		・適宜カ	ンファレン	/スを行い	情報共有で		が考えられます
		きている	0				
(3)	組織体制の構築						
① j	軍営推進会議で得られた意見等 <i>の</i>	反映					
6	O 運営推進会議で得られた要						✔ 「得られた要望・助言等のサービ
	望、助言等を、サービスの提						スへの反映」の視点から、充足度
	供等に反映させている	[具体的な	∵状況・取組	 <u>[内容]</u>			を評価します
		要望が	あった機能	割練が出	来機能維持		
		がおこな	えている。				
		・業務会議で情報の共有をし要望や助言					
		をサービスへの反映に努めている。					
		・サービスに反映されている部分は多い					
		が反映さ	れていない	*部分もある	るので今後		
		どのよう	に反映して	こいくか考え	えて行かな		

		事業原				
番号	評価項目	よくおおよそ		全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて できてい いる る	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		ければならない。		, v		
		17401445445				
② J	 職員が安心して働くことができる	 S就業環境の整備				
7	O 職員が、安心して働くことが					✓ 「職員が、安心して働くことので
	できる就業環境の整備に努					きる就業環境」の充足度を評価し
	めている	 [具体的な状況・取約	 且内容]			ます
		問題なく安心し	 て働くことか	が出来る。		✔ 例えば、「職員の能力向上の支援」、
		・残業はほとんど	ない			「精神的な負担の軽減のための支
		それぞれの職員	の事業に応	じて勤務形		援」、「労働時間への配慮」などが
		態を分けて配慮し	ている。職	員の能力向		考えられます
		上の支援について	もサポート	できる環境		
		に努めている。				
		・人員不足を感じる				
(4)	情報提供・共有のための基盤整備	Ħ				
1) 7	利用者等の状況に係る情報の随時	持更新・共有のための)環境整備			
8	O 利用者等の情報について、随					✔ 「情報の随時の更新」と「職員間
	時更新を行うとともに、必要					で迅速に共有するための工夫」の
	に応じて職員間で迅速に共	[具体的な状況・取組内容]				2つの視点から、充足度を評価し
	有できるよう工夫されてい	・ケアマネ、所長が中心に情報の更新を				ます
	る	行いリーダーが主となり職員間で情報の				
		共有できる体制に	している			
		・申し送りなどで	情報共有に	努めている		
		が伝達されていない	ハ時もある。			

		事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて できてい いる る	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		- ・ まれに利用者情幸	,	,		
		がある。				
(5)	 安全管理の徹底			l		
1) 2	各種の事故に対する安全管理					
9	O サービス提供に係る利用者					✓ 「各種の事故に対する予防・対策」
	等および職員の安全確保の					の充足度を評価します
	ため、事業所においてその具	[具体的な状況・取組	· [内容]			対策が求められる事項としては、
	体的な対策が講じられてい	・感染対策では十分	な予防策	を行い業務		例えば「医療・ケア事故の予防・
	る	にあたった。				対策」、「交通安全」、「夜間訪問時
		・ヒヤリハット、事	事故報告に	ついては全		の防犯対策」、「個人情報保護」な
		職員で検討し事故防	近にとりく	くんでいる		どが考えられます
		・利用者様の緊急	芽の連絡体 に	制が整って		
		いる。				
2	災害等の緊急時の体制の構築					
10	O 災害などの緊急時において					✓ 「緊急時におけるサービス提供の
	も、サービス提供が継続でき					ための備え」について、充足度を
	るよう、職員、利用者、関係	[具体的な状況・取組	[内容]			評価します
	機関の間で、具体的な対応方	・訓練や連絡リスト	、マニュブ	アルが作成		✔ 例えば、「安否確認方法の明確化」、
	針が共有されている	されている。				「連絡先リストの作成」、「医療材
		・定期的に避難訓練	を実施して	ている。		料などの確保」、「災害時ケアのマ
		・BCPの把握、全	職員が怯力	えることな		ニュアル化」などが考えられます
		く安心して対応、行	「動できる」	ように訓練		
		が必要				

番号	評価項目	事業所自己評価 よく おおよそ あまりで 全く できて できてい きていな できていな いる る い い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		・職員の異動等に伴い、定期的にBCP や災害時の物品の場所、使用方法を確認 する必要がある。		
	サービス提供等の評価 利用者等の特性・変化に応じた専門	 		
(1)	利用者等の状況把握及びアセス		なアセスメントの実施	
11	O 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を 含む、利用者等の24時間の 暮らし全体に着目したアセ スメントが行われている	[具体的な状況・取組内容] ・ケアマネのプランに基づいて利用者さまに合ったサービスを提供している。 ・利用者様に状態変化あった場合は都度カンファレンスを行いプランの変更を行っている。 ・家族、介護者の状況については良く分かっていない部分がある。		 ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	O 介護職と看護職がそれぞれ の視点から実施したアセス メントの結果が、両職種の間 で共有されている	[具体的な状況・取組内容] ・担当者会議や日々の業務の中で必要 に応じ確認し合い共有している。		✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつ

番号	評価項目	事業所自己評価 よく おおよそ あまりで 全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
7		できて できてい きていな できていな いる る い い	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		・日々のケアの中で気づいたことを積極		き合わせなどを通じて、両職種で
		的に発信し情報の共有につとめている。		共有されることが望ましいといえ
		・職場会議や日々の合間に介護、看護間		ます
		で情報共有している。		
2 5	利用者等の「尊厳の保持と自己実	E現の達成」を重視した計画の作成		
13	O 家族を含む利用者等の考え			✓ 「家族等の考えを含めた計画の作
	を把握するとともに、その目			成」について、充足度を評価し利
	標の達成に向けた計画が作	[具体的な状況・取組内容]		用者のみでなく、家族等の考えを
	成されている	・ケアマネが利用者様の様子を現場から情		適切に把握するとともに、その考
		報収集してうえで本人、ご家族様の考えを		えを含めた計画を作成することは
		もとに計画を作成している。		重要であるといえます
		-		
		・ケアマネが利用者様の様子を現場から情		
		報収集した上で本人、ご家族様の考えを元		
		に計画を作成している。		
		・利用者様、家族の要望、意見に沿って計		
		画が立てられている。		
		・意見を確認した上で目標設定に努めてい -		
		්ං		
14	○ 利用者の有する能力を最大			✓ 「利用者の有する能力を活かし」
'4	限に活かした、「心身の機能			た、心身機能の維持回復を重視し
	「大ではかした、「心力・小成形			/こ、「ロップスポロックル年77日7日7日7日7日7日

番号	評価項目	事業所自己評価 よく おおよそ あまりで 全く 運営推進会議における評価 できて できてい きていな コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		いる る い い い コクント記入懶	計画にめたりての相足
	の維持回復」「生活機能の維	[具体的な状況・取組内容]	た計画の作成」について、充足度
	持又は向上」を目指すことを	・出来ること、興味のある事、趣味等を	を評価します
	重視した計画が作成されて	確認した上で達成できそうな目標を心掛	✓ 「利用者が尊厳を持って、その有
	いる	けている。	する能力に応じ地域において自立
		・その人が出来る事に視点を当て、その	した日常生活を営む」ために、必
		人の能力が生かせるよう計画している。	要な視点であるといえます
3 5	利用者の今後の状況変化の予測と	、リスク管理を踏まえた計画の作成	
15	Ο 利用者の今後の状況変化の		✔ 「状況変化の予測」と「リスク管
	予測と、リスク管理を踏まえ		理」の2つの視点から、充足度を
	た計画が作成されている	[具体的な状況・取組内容]	評価します
		・病状に関しては主治医、看護師に確認	✔ 介護・看護が一体的に提供される
		した上で今後予測される状態やリスクを	看護小規模多機能型居宅介護にお
		踏まえ計画するようにしている。	いては、特に看護職による予後予
		・主治医、看護師と情報共有に努め今後	測などを踏まえて計画を作成する
		起こりうることについても確認してい	ことが重要です
		る。	
		・計画書を確認する機会を作り把握して	
		いきたい。	
F	利用者等の状況変化への迅速な		
1) 1	継続したアセスメントを通じた、	利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映	
16	Ο サービス提供を通じた継続		✓ 「早期の把握」と「計画への適宜
	的なアセスメントにより、利		反映」の2つの視点から、充足度
	用者等の状況変化を早期に	[具体的な状況・取組内容]	を評価します
	把握し、計画への適宜反映が	・利用者様の状態変化があった場合は、	

番号	評価項目 行われている	事業所自己評価 よく おおよそ あまりで 全く できて できてい きていな いる る い い 看護師、ケアマネ、管理者、主治医、家 族様との情報共有し都度カンファレンス の開催、ケアプランの変更を行っている。・状態変化や計画の変更時はケア記録、申し送りにて職員間での情報共有を図っ	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		ている。		
-	I)暮らし全体に着目したアセスメントの実施 (と計画への反映	
17	O 通い・泊まりの利用に過度に 偏らないよう、適時適切に利 用者宅を訪問することで、家 族等を含めた居宅での生活 状況の変化を継続的に把握 している	[具体的な状況・取組内容] ・本人、家族のニーズを確認しすり合わせながらプランを作成しており、可能な限り意向に沿う形を取っている。 ・利用者様、家族様の状況に応じてその都度調整している。 ・中にはホームでの生活の方が長くなってしまっている方もいる。		 ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
18	I	ὰ状況等に関する関係多職種との情報共有 「		./ 「利田孝笠の仲辺亦ルめ日博の法
18	O 利用者等の状況変化や目標 の達成状況等について、主治			✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係

		事業所	自己評価			
番号	部/正帝日	よくおおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	評価項目	できて できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いるる	\ \ \	\		
	医など、事業所内外を含む関	[具体的な状況・取組	内容]			多職種との情報共有」について、
	係多職種と情報が共有され	ケアマネ、所長を	中心に事	業所内外と		充足度を評価します
	ている	の多職種との情報を	共有出来で	こいる。		
		・メルタスやサイオ	ドウズ等を泊	舌用し情報		
		共有出来ている。				
		・事業所外の関係多	8職種の情	報は少ない		
		と思う。				
(3)		的なサービスの提供				
1) :	介護職と看護職の相互の専門性を	と生かした柔軟なサー	ビスの提供			
19	O 介護職と看護職のそれぞれ					✓ 「介護職と看護職の専門性を活か
	の専門性を最大限に活かし					した役割分担」について、充足度
	ながら、柔軟な役割分担が行	[具体的な状況・取組	 内容]			を評価します
	われている	・看護職と介護職で	で声をかける	合い役割分		✔ 介護・看護が一体的に提供される
		担出来ていると思う	0			看護小規模多機能型居宅介護で
		互いに声をかけ協	協力し合う作	体制がつく		は、効果的・効率的なサービス提
		られている。				供のために、各々の専門性を活か
		・役割分担しそれる	だれの専門	性を活かし		した役割分担や、業務の状況等に
		業務にあたっている	0			応じた柔軟な役割分担を行うこと
						が重要です
20	○ 利用者等の状況について、介					✔ 「介護職と看護職の情報共有およ
	護職と看護職が互いに情報					び対応策の検討」について、充足
	を共有し対応策を検討する	[具体的な状況・取組	内容]			度を評価します
	など、両職種間の連携が行わ	・その都度状況、状	は 態の変化 な	があった場		
	れている	合には情報発信した	1ンファレ:	ンスの場を		

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	HI IIM X H	できて いる	できてい る	きていな い	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		設けてい ・職場会	る。 議をはじめ	ı	り等で情報		
					-		
				いるが対応	が策の検討		
		が出来て	いない時が	ある。			
2	」 看護職から介護職への情報提供お	 3よび提案					
21	O 看護職から介護職に対して、						✓ 「看護職の専門性を活かした、介
	疾病予防・病状の予後予測・						護職への情報提供や提案等」につ
	心身の機能の維持回復など	「具体的な	状況•取組	· .内容]			いて、充足度を評価します
	の観点から、情報提供や提案	・今後起	こりうる症	 E状、観察 ⁻	するポイン		✓ このような情報提供や提案等は、
	 等を行っている	ト等アド	バイスをも	らいながり	らケアして		看護職の専門性を活かした役割の
		いる。					1つとして期待されます
			様に状態変	が化があった	た時は看護		
		, ., ., ,			を伝達して		
		いる。	HX 1944 = 7.3	- Im / G() (1)			
			予後 予 涸	の情報提供	供はあるが		
			まりないと) (10.00) W N		
(4)	│ 利用者等との情報及び意識の共有			<u> </u>			
	利用者等に対するサービスの趣旨		等について	の情報提供			
22	O サービスの趣旨および特徴						✔ 「利用者等の理解」について、充
	等について、分かりやすく説						足度を評価します

			事業所	自己評価			
番号	 	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
	 明し、利用者等の理解を得て		└────── ▷状況•取組	,	V .		
	いる				ビスについ		
		てケアマ	ネを中心に	に説明し理解	解を得られ		
		るよう努	めている。				
		相手に	受け止めて	て貰えるよ	う工夫しな		
		がら説明	し理解して	て頂けるよ	う努めてい		
		る。					
		・理解は	得られてレ	\るが偏っ?	たサービス		
		の利用も	あると感じ	こ る。			
		何を聞	かれても自	目信を持っ`	て説明でき		
		るように	したい。				
2 5	利用者等への「在宅での療養生活	5」に係る打	指導・説明				
23	O 作成した計画の内容や在宅						✔ 「利用者等の理解」について、充
	での療養生活の継続に向け						足度を評価します
	て留意すべき点等について、	[具体的な	↓状況•取組	<u>[内容]</u>			
	分かりやすく説明し、利用者	・留意す	べき点につ	ついて分か	りやすく説		
	等の理解を得ている	明し理解	して頂ける	よう努めて	ている。		
		・プラン	は分かりや	やすい内容	で具体的に		
		説明され	ていると思	! う。			
		・ケアマ	ネ、所長を	と中心に分が	かりやすく		
		説明し理	解を得てい	る。			
		・理解を	得てはいる	らがホーム	での生活が		
		主となっ	ているよう	にも感じる	5 .		
24	O 利用者等が行う医療処置や						✔ 「利用者等の理解」について、充

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
	医療機器の取り扱い方法、家				,		足度を評価します
	 族等が行うケアの提供方法	「具体的な	└─── ᠺ状況•取組	 内容]			
	等について、分かりやすく説				置や医療機		
	明し、利用者等の理解を得て				し理解を得		
	いる	ている。		. ,	2,77, 2,11		
			を中心に診	説明し理解	を得ている		
		と思う。					
		 ・利用者	様、ご家族	族様が安心、	、安全に行		
		えるよう	説明出来て	いる。			
				-			
3	 重度化した場合や終末期における	 対応方針(カ 利用者	生との相談	 シ出右		
25	O 利用者本人(意思の決定・表	0 > 1 \(\text{\$1 \cdot \text{\$	77 7 1311 1	1, 0, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,			✓ 「サービス提供への適切な反映」
	示ができない場合は家族等)						について、充足度を評価します
	の希望や意向を把握し、サー	「旦体的な	└ └状況•取組	└──── 内突]			
	ビスの提供に反映している				はその都度		
					ービスの提		
			灰の恋所。 している。		C > > 1)C		
				星に努めサ	ービスの景		
		', _ '	している。	E(C), ()	٥٠٠٠		
			=	用者様(3	家族)の希		
			できている		(1-11/2) A 7 (11)		
26	 ○ 在宅生活の継続の可否を検	7.1011111					✓ 「将来に発生し得る様々なリスク」
	計すべき状況を予め想定し、						を想定した上での、対応策の検討
	HIT CANDER 1 ANDREOL	<u> </u>					

番号	評価項目	事業所自己評価 よく おおよそ あまりで 全く できて できてい きていな できていな いる る い い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	その際の対応方針等につい て、利用者等と相談・共有す ることができている	[具体的な状況・取組内容] ・状態変化が見られたときにはその都度 本人、家族の意向を確認しサービスの提供に反映している。 ・希望や意見の把握に努めサービスの景		と共有」について、充足度を評価します
07	○ 始十地にマファよい、ア 利田之	況を実施している。 ・終末期における利用者様(家族)の希望は相談できていると思う。		
27	O 終末期ケアにおいて、利用者 等に適切な時期を見計らっ て、予後および死までの経過 を丁寧に説明し、説明した内 容や利用者等の意向等を記 録として残している	[具体的な状況・取組内容] ・丁寧に説明し記録として残している。 ・主治医からの説明もあり、日々のケア 内容は記録に残している。 ・終末期ケアにおいては適切な時期に丁 寧に説明を行い記録に残している。		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
	多機関・多職種との連携			
	病院・施設等との連携による円滑 病院・施設等との連携や情報共有	で切れ目のないケアの提供 有等による、在宅生活への円滑な移行		
28	O 病院・施設等との連携・情報 共有等により、病院・施設等			✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移 行」について、充足度を評価しま

番号	評価項目	事業 よく おおよ できて できて いる る		全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	[具体的な状況・関 ・退院時、カンド情報共有している。 ・現院、退院前に在宅生活でいる。 ・病院、施設との円滑な在宅生活を扱している。	ファレンスや る。 カンファレン が送れるよう。 の連携、情報	スへ参加し 相談、調整 共有を図り		す ✔ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
2	」 入院・入所の可能性がある利用者	L 音についての、主治		 ぶ方針の共有		
29	O すべての利用者について、緊 急時の対応方針等を、主治医 等と相談・共有することがで きている	[具体的な状況・耳 ・各利用者様の で主治医からの 共有出来でいる。 ・主治医、看護 る。	 緊急時の対応 意見を仰ぎ相	談・説明・		✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
3	地域の医療機関等との連携による	ふ、急変時・休日夜	構築			
30	O 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい	[具体的な状況・耳	<u> </u>			✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価 よく おおよそ あまりで 全く できて できてい きていな できていな いる る い い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
(0)	て、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	・緊急時の対応については本人・家族様には看護師に連絡をしていただくようお話している。 ・緊急時は訪問看護に連絡しすぐに対応できる用体制が整備されている。 ・診療所が主治医の利用者様については緊急時に即座に対応できる態勢が出来ているが他の主治医の方は把握できていない所がある。		
<u> </u>	多職種との連携体制の構築 運営推進会議等における、利用者		 いての、多職種による検討	
31	O 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	[具体的な状況・取組内容] ・左記の内容で行われている。 ・コロナ禍により書面での開催が多かっ		 ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 1	惟でも安心して暮らせるまちづくりへ			

			事業所	自己評価			
番号	 	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
(1)	 地域への積極的な情報発信及び		3	V.	V ·		
	サービスの概要及び効果等の、地						
32	○ 運営推進会議の記録につい			114 177 7212			✓ 「誰でも見ることができる方法で
	て、誰でも見ることができる						の情報発信」と「迅速な情報発信」
	ような方法での情報発信が、	「目休的か	└ └状況•取組	│ 広 灾]			の2つの視点から、充足度を評価
	迅速に行われている			<u>にかる。</u> 生でも確認~	でキストら		します
	XEXE(2)1424 0 C 4 - 2	にしてい	_ ,,,,,	公は国本のフェ	(624)		
			-	か託し合い	 ハが行われ		
				一分に理解で			
		要。	17 ⁴ 11111111111111111111111111111111111	力に生産	9 分事が必		
		- 10	プレンナンレン形	**早の由/テン	 よ内容を把		
			いない人も		は内谷を把し		
		性でさて	いない人も	いくいる。			
33	○ サービスの概要や地域にお						✓ 「積極的な啓発活動」について、
55	いて果たす役割等について、						評価する項目です
	正しい理解を広めるため、地		│ ▷状況•取組				★ 例として、「チラシ等の配布」や「地
	域住民向けの積極的な啓発				 域において		域説明会の実施」などの取組が考
	域性氏向りの積極的な各先	' ' ' '			製にわい [製売的去の美胞」などの取組から えられます。
	石野J/ハチイフィレ(V・つ		割を周知し	- 0	. 7		
				載されてレ	✓ 利用者や職員の確保のみを目的と		
		・コロア		責極的な活動	した活動等は除きます		
	医療ニーズの高い利用者の在宅						
	看護小規模多機能型居宅介護事業	ぎ所の登録	者以外を含	む、地域へ	の訪問看護の	の積極的な提供	
34	〇 看護小規模多機能型居宅介						✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	H IM X I	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
	***************************************	いる	る	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	γ·		リーエルー・フェルコ・のファルー
	護事業所の登録者以外を対						せて受けている事業所」のみが対
	象とした訪問看護を積極的	<u>[具体的な</u>	状況•取組	.内容]			象です。該当しない場合は、実施
	に実施している						状況欄は無記入で、[具体的な状
		・右記の	指定なし				況・取組内容]欄に「指定なし」と記
							入してください
							✓ 「登録者以外を対象とした訪問看
							護」を実施してないていない場合
							は、「全くできていない」
							✓ 「あまりできていない」~「よく
							できている」は、その「積極性」
							の視点から、充足度を評価します
2	医療ニーズの高い要介護者の積極	函的な受け,	入れ				
35	O 「たん吸引」を必要とする要						✓ 「積極的な受け入れ」について、
	介護者を受け入れることが						充足度を評価してください
	できる体制が整っており、積	[具体的な	状況•取組	 .内容]			✓ 「受け入れることができる体制」
	極的に受け入れている	・正職員	、パートを	と問わず積	極的に喀痰		が整っていない場合は、「全くでき
		吸引の研	修に参加し	資格の取る	得に取り組		ていない」
		んでいる。					✓ 「あまりできていない」~「よく」
		・受け入れ態勢が整っており現状吸引が					できている」は、その「積極性」
		必要な方のご利用を頂いている。					の視点から、充足度を評価します
		12.2.3	^> C.1.1\11 .G	121	0		- Damy St Juve/S call IIII Co.

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	пшж	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
00		いる	る	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	γ·		
36	O 「人工呼吸器」を必要とする						✓ 「積極的な受け入れ」について、
	要介護者を受け入れること						充足度を評価してください
	ができる体制が整っており、	[具体的な	状況•取組	内容]			✔ 「受け入れることができる体制」
	積極的に受け入れている	・現在人□	L呼吸器を	使用してい	る方はいな		が整っていない場合は、「全くでき
		いが受け	入れの体制	は整ってい	る。		ていない」
		▪現在該当	4者がいなし	Α.			✓ 「あまりできていない」~「よく
		•受け入れ	体制は出る	来ていると思	見うが異動		できている」は、その「積極性」
		に伴う職員	員の出入り	もある為受	け入れに際		の視点から、充足度を評価します
		して人口『	呼吸器につ	いての研修	を行った方		
		がいいと	思う。				
37	O 「看取り支援」を必要とする						✓ 「積極的な受け入れ」について、
	要介護者を受け入れること						充足度を評価してください
	ができる体制が整っており、	[具体的な	状況•取組	<u>.内容]</u>			✓ 「受け入れることができる体制」
	積極的に受け入れている	・ご家族様	まの要望に の	より看取り	支援の出来		が整っていない場合は、「全くでき
		る体制が	整っており、	、積極的な	受け入れを		ていない」
		行っている	5.				✓ 「あまりできていない」~「よく
		・体制が熱	隆っており	受け入れし [・]	ているが看		できている」は、その「積極性」
		取るとはと	ごういうこと	か、考え方 [・]	やケアの方		の視点から、充足度を評価します
		法などを含	全職員で学	ぶ機会を作	れたらと思		
		う。					
(3)	地域包括ケアシステムの構築に「	句けての、ま	きちづくりへ	の参画			
1) ?	行政の地域包括ケアシステム構築	延に係る方針	計や計画の	理解			
38	O 管理者および職員が、行政が						✔ 「内容等の理解」について、その
	介護保険事業計画等で掲げ						充足度を評価します

亚.		L /	事業所	運営推進会議における評価	評価の視点・		
番号	評価項目	よく できて	おおよそ できてい	あまりで きていな	全く できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	<u>る</u>	<i>ا</i> ا	V		
	ている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	・包は地のではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるが、良いのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、これにはいるのでは、	れを行って 包括支援事 曖昧な事かた 理がアシス 括ケアシス	ーと協力している。まだ にいる。まだ いるの研修に できい為、「 に上感じる。	て利用者様た、ケアマに参加して情報収集しの言葉で説針や計画の		 ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
2	 サービス提供における、(特定の)	 建物等に限	と定しない)	地域への原	 展開		
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	・当事業の受け入・地域に	れを行って		も利用者様の方を対象		 ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
	安心して暮らせるまちづくりに向	Company to to A at Alatta to the Company					
40	○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ						✓ 「課題提起や改善策の提案等の取 組」について、その充足度を評価

番号	評価項目	事業所 よく おおよそ できて できてい いる る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	で課題提起や改善策の提案等が行われている	[具体的な状況・取組 ・運営推進会議や分開催し必要に応じて 提案などを行ってい ・研修会等を通し情っている。 ・具体的にどのよう 解できていない。	ーー ↑護何でも記 ご課題提起・ ◇る。 『報の共有・	や改善策のや発信を行		します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	O 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや 向上のための具体的な取組 等が行われている	「具体的な状況・取組・運営推進会議や介通しご家族様や近隣言を行っている。 ・ご家族様からの不き出せるよう送迎時	護何でも語 住民の方に 安や困って	対しての助いる事を引		 ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を

番号評価	j項目	よく できて いる	事業所! おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	U	เงอิ					支えていくための環境を整えてい くなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない 場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足						
Ш										
1	計画目標の達成									
42	 画目標の達成 O サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている ※2名 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている ※15名 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている ※0名 4. 利用者の1/3には満たない※0名 [具体的な状況・取組内容] ・利用者様及びご家族様が満足できる計画目標を立て、達成できていると思う。 ・表情が明るくなった、以前より歩けるようになった等のお声を頂けたことがある。 			✔ 「計画目標の達成」について、評価します						
2 7										
43	○ サービスの導入により、利用 者およびその家族等におい て、医療が必要な状況下にお いての在宅での療養生活の 継続に対し、安心感が得られ	 はぼ全ての利用者について、達成されている※2名 利用者の2/3くらいについて、達成されている※15名 利用者の1/3くらいについて、達成されている※0名 利用者の1/3には満たない※0名 		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用 者およびその家族等に対し、サービ スの提供により実現された「医療が 必要な状況下においての、在宅での 療養生活の継続に対する安心感」に						

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	ている ○ サービスの導入により、在宅	[具体的な状況・取組内容] ・主治医、看護師な等と連携し対応することで安心感を得られていると思う。 ・訪問看護や泊りの利用等で安心感があると思う。 ・在宅生活で医療が必要な利用者様及びご家族様に対し、訪看が親身になってアドバイスをし必要に応じ訪問してくれたりと安心できると思う。 1. ほぼ全ての利用者について、達成され		ついて、評価します ✓ 在宅での看取りを希望する利用者お
44	〇 サービスの導入により、任宅 での看取りを希望する利用 者およびその家族等におい て、在宅での看取りに対する 安心感が得られている	1. はは主じの利用者について、達成されている※3名 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている※13名 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている※1名 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない※0名 [具体的な状況・取組内容] ・本人、ご家族様には看取りに対しての説明を行い納得して頂いたうえでサービスを提供している。定期的にご家族様にも利用者様の様子やサービス状況について説明を行い安心してもらえるよう努めている。 ・主治医、看護師等と連携することで安心感が得られていると思う。		 ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5.看取りの希望者はいない」